

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法によっている。

その他有価証券

市場価格のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

市場価格のないもの…移動平均法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産(リース資産を除く)……定率法を採用している。

リース資産……

- ・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

- ・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

賞与引当金……支給対象期間が当期に帰属する支給見込額を計上している。

(4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 表示方法の変更

なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	25,284,838,800	0	385,822,000	24,899,016,800
定期預金	300,000,000	100,000,000	0	400,000,000
小 計	25,584,838,800	100,000,000	385,822,000	25,299,016,800
特定資産				
助成事業財産	14,771,163,600	0	125,068,300	14,646,095,300
退職給付引当資産	83,134,964	3,157,329	0	86,292,293
小 計	14,854,298,564	3,157,329	125,068,300	14,732,387,593
合 計	40,439,137,364	103,157,329	510,890,300	40,031,404,393

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	24,899,016,800	(3,000,000,000)	(21,899,016,800)	(0)
定期預金	400,000,000	(0)	(400,000,000)	(0)
小 計	25,299,016,800	(3,000,000,000)	(22,299,016,800)	(0)
特定資産				
助成事業財産	14,646,095,300	(14,646,095,300)	(0)	(0)
退職給付引当資産	86,292,293	(0)	(0)	(86,292,293)
小 計	14,732,387,593	(14,646,095,300)	(0)	(86,292,293)
合 計	40,031,404,393	(17,646,095,300)	(22,299,016,800)	(86,292,293)

5. 担保に供している資産

なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	8,485,680	8,060,367	425,313
ソフトウェア	18,589,135	9,323,600	9,265,535
合 計	27,074,815	17,383,967	9,690,848

7. 保証債務等の偶発債務

なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
第11回東日本旅客鉄道債	600,000,000	633,795,600	33,795,600
第38回中日本高速道路債	500,000,000	506,291,500	6,291,500
第547回東京電力債	100,000,000	105,266,800	5,266,800
第26回地方公共団体金融機構債	500,000,000	524,515,000	24,515,000
第33回地方公共団体金融機構債	500,000,000	524,080,000	24,080,000
第429回九州電力債	500,000,000	519,034,000	19,034,000
第497回関債電力債	300,000,000	315,570,000	15,570,000
合 計	3,000,000,000	3,128,552,900	128,552,900

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益計上による振替額	41,552,165
特定資産運用益計上による振替額	315,332,640
指定正味財産再投資差額充当額計上による振替額	39,303,514

10. 関連当事者との取引の内容

なし

11. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

- (1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。
(単位：円)

前期末		当期末	
現金預金勘定	471,388,627	現金預金勘定	489,617,303
有価証券勘定	0	有価証券勘定	0
現金及び現金同等物	471,388,627	現金及び現金同等物	489,617,303

- (2) 重要な非資金取引
なし

12. 重要な後発事象

なし